

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぐまの森 明石		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年10月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもや保護者の方々に対する思い 子ども達の成長や変化について話をする場面が多くあります。 そのたびに職員達から子ども達への思いをたくさん感じています。 また、保護者の方々の思いにも寄り添い、支援の意欲を感じます。明るく前向きに支援に取り組んでいる姿勢が見られます。	・職員がいつも明るく笑顔でいること 職員間の風通しの良さ、いつでも相談し合える環境、関わる大人達が笑顔でいることは子ども達の安心感、そして支援においてとても重要なことだと捉えています。毎月の振り返りレポートでは子どもへの関わりや支援方法など細かな部分まで職員間で吸収し合っている様子が十分にうかがえます。それぞれが意識しながらお互いを高め合い、どんな時も子どもの気持ちに寄り添いながら支援を行い、その姿に子ども達も安心して支援に取り組めるのだと強く感じています。	日頃から子ども達の情報共有は行っていますが、今後も職員でしっかりと子ども達の様子について、子ども達それぞれの支援のあり方について、子どもはもちろん保護者の方々の気持ちにも寄り添いながら職員間で話し合う機会をより増やしていきます。 そして職員がいつも明るく元気に子ども達と関われるよう働きやすい環境作りをより意識してまいります。
2	・専門性の高い職員の在籍 音楽療法士2名、作業療法士など専門的な職員が多く在籍しています。幅広い視野で子ども達ひとりひとりの支援を行っています。その他職員も有資格者、障がい分野での歴が長い経験者となっています。	専門的な目線からのアドバイスや意見、取り組みを共有しています。 個別の時間もありますが、集団での活動の際にはその他職員も共に参加しながらサポートしています。その他職員については定期的な外部研修や法人の研修（SST研修など）に積極的に参加し、現場での支援に活かしています。	外部研修や法人内の研修の機会を増やし、職員ひとりひとりのスキルアップを目指します。 研修だけでなく、日頃の支援の成功例など今後も随時共有するよう努めます。
3	・見て、触れて、体験する 日々の支援だけでなく様々な行事、イベント、体験を行っています。季節のイベント（クリスマス会、節分、ハロウィンでの地域の方々との関わり、お芋掘りなど）、運動会、遠足（動物園、水族館など）、クッキング、外国人講師による英会話、ピアノ力など	行事やイベントの中から実際に体験する機会、社会性の構築、そして体験を通して自信や可能性に繋がることが期待されます。 障がいの特性によっては保護者の方が余暇の過ごし方に悩まれることもあり、外出先も制限せざるを得ないこともあります。 こぐまの森で様々な場所に行き、幅広い経験を培うことを意識して取り組んでいます。	現在、保護者の方に観覧いただくのは運動会のみとなっておりますが その他にもご参加いただけるようなイベントや 普段の様子を観覧いただけるような機会を検討しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催不足	昨年度もお声をいただいておりますが、新規事業所スタートなどにより時間が作れなく申し訳なく感じております。	新年度にこれまでと違った内容での保護者会を計画しております。これまで平日はお仕事等で参加が難しく、休日ではお子様の預け先が難しいなどありましたので、次回は土曜日での開催を検討しております。
2	室内の活動スペース	多機能型であるため児童発達支援と放課後デイが同じフロアで過ごす時間があります。そのため十分なスペースがとれない場合もあります。子どもの特性によっては安全確保も課題となっています。	子ども達の障がいの特性に応じて様々な工夫に取り組んでおりますが、現状での室内スペースにより中学生以上の受け入れは難しいと判断しております。
3			